

第1学年 国語科学習指導案

令和元年6月27日(木) 第6校時

1年3組 児童29名 指導者 中野浩史

1 単元名 つたえよう! どうぶつのみのももりかた!

「どうやって みをまもるのかな」(東京書籍 1年上)

「どうやってみをまもるのかな」(薮内正幸 福音館書店)

2 単元について

(1) 児童観

入学してからこれまで、児童は音読をしたり、想像したことを話したりしながら、ある程度まとまった文章が徐々に読めるようになってきている。ほとんどの児童がひらがなの読み方は理解できているものの、自力で文章を読むとなると、中には拾い読みをし、読めても内容が正しく理解できていないなど、個人差がある。また、自分の考えをもち、発表したり、友達に伝えたりすることなどについても、進んで取り組むことができない児童も見られる。本単元では、書かれている叙述に沿って事柄を正しく読み取る力を高めていきたい。

(2) 単元観

本単元は、事柄の順序を考えながら、内容を正しく読み取る力を付けることをねらいとする。未知の事象を知るといふ、説明文を読むことの楽しさを十二分に感じさせることが、以後の学習の基礎となると考える。ここでの学習は、1年下の11月「いろいろなふね」(説明文を読んで、調べ学習へと広げる)、2月「歯がぬけたらどうするの」(説明文を読んで、自分の考えをもつ)の学習へとつながっていく。

本教材は、児童が入学後初めて出会う説明文教材である。本教材の題材は、児童にとって親しみやすい「動物」でありながら、一風変わった動物が取り上げられていて、興味をもって読み進めることができると考えられる。また、身の守り方という視点で書かれているため、読むことによって新たな事実を知る喜びを味わうことができるという点も説明文教材としての価値があるといえる。いわゆる「お話」ではないため、内容を読み取ることに抵抗のある児童もいると考えられる。しかし、文章は同じような繰り返しとなっていて、初めて説明文を読む1年生にとっても捉えやすい構成になっている。緻密に描かれた挿絵を効果的に使いながら、文とつないで内容を理解させ、書かれていることを正しく読み取る学習を進めていきたい。

(3) 指導観

本単元の重点指導事項は、学習指導要領におけるC読む(1)ア「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。」である。また、単元の言語活動として分かったことを友達に伝える活動を設定した。読み取った事柄を、問いかけに対応させて自分の言葉で説明する活動をすることで、叙述の内容をきちんと認識し、理解することができる考えた。その過程で、文章や文や段落に分けて読み取ることになり、話題提示、問いかけの文に対する説明といった、説明文の基本的な問いと答えの形を学ぶことができる考える。

第一次では、題名から文章の内容を想像したり、挿絵をもとに文章の内容を読み取ったりすることを通して、教材に興味をもち学習を進めていくことができるようにする。また、単元のゴールでは、自分の選んだ動物の身の守り方をカードに書き紹介することをつかませ、意欲をもって学習を進めることができるようにしたい。

第二次では、文章をまとまりごとに分け、動物の種類ごとに内容を読み取る学習を進めていく。その際、挿絵と文章内容を照らし合わせたり、問いの文と答えの文を意識させたりすることを通して、説明的な文章の読み取りの基礎を身に付けさせたい。

第三次では、第二次で読み取った説明の仕方をもとに、教科書には出てこない動物の身の守り方について友達に伝える活動を行う。第6時では、共通の動物について、説明の仕方を全体で確認する。そして、第7時では、自分が選んだ動物について、説明するカードを書き、第8時では、友達に伝え合う活動を行う。児童にとって、初めて出会う説明文であるため、文章を読み、初めて知ることの喜びやうれしさ、友達に伝える楽しさを味わわせたい。

本時では、図書館資料からえりまきとかげの身の守り方を学習カードに書く活動を行う。これまで学習した動物の、問いかげの文や答えの文を確かめながら、えりまきとかげの資料から身の守り方に関係のある大切な言葉を選び出し、学習カードに書き交流させる。挿絵と文章を関連付けて説明することで、次時の自分の選んだ動物のカード作りの展望をもたせ、意欲付けを図りたい。

3 単元の目標

- 問いと答えに気を付けて、文章の内容の大体を読み取ることができる。
- 資料から読み取った動物の身の守り方をカードに書き、友達に伝えることができる。

4 重点指導事項

【C（1）ア】事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

5 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 【C 読むこと】 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------------------------------|--|---|
| ○主語と述語の関係に気を付けて読んでいる。 【(1)カ】 | ○問いと答えに気を付けながら、内容の大体を捉えて読み取っている。 【(1)ア】 ○体のつくりや身の守り方を表す、大事な文や言葉を抜き出している。 【(1)ウ】 | ○動物の身の守り方に興味をもって、楽しんで図鑑や資料を読むとともに、分かったことを友達に伝え合おうとしている。 |

6 学習指導計画

| 次 | 時 | 学習内容 | 評価 | | | |
|---|---|---|-----|-----|----|--|
| | | | 知・技 | 思判表 | 態度 | 評価規準【評価方法】 |
| 一 | 1 | <p>○学習の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ動物の身の守り方カードを作るという単元の言語活動をつかみ, 学習の見通しをもつ。 ・題名を確認し, 全文を通読する。 ・挿絵を見ながら, 内容をつかむ。 ・感想を話し合う。 | ○ | | | <p>挿絵を見たり, 主語と述語に気を付けたりして教材文を読んでいる。</p> <p>【発言・行動観察】</p> |
| | 2 | <p>○教科書に出てくる動物の身の守り方の伝え方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を4つのまとまりに分けてとらえる。 ・出てくる動物の種類ごとにまとまりに分ける。 ・3つの動物の説明とはじめの部分を区別する。 | ○ | | | <p>全体を4つのまとまりに分け, 動物が出てくる順をとらえている。</p> <p>【発言・行動観察】</p> |
| | 3 | <p>○やまあらしの身の守り方を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを確認し, 音読する。 ・やまあらしの体の特徴を読み取る。 ・やまあらしの身の守り方を読み取る。 ・やまあらしの身の守り方を友達に伝える。 | | ○ | | <p>二枚の挿絵を叙述に即して示し, やまあらしの身の守り方を説明している。</p> <p>【学習カード・発言】</p> |
| 二 | 4 | <p>○あるまじろの身の守り方を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを確認し, 音読する。 ・あるまじろの体の特徴を読み取る。 ・あるまじろの身の守り方を読み取る。 ・やまあらしと同じ順序で書かれていることに気付く。 ・あるまじろの身の守り方を友達に伝える。 | | ○ | | <p>二枚の挿絵を叙述に即して示し, あるまじろの身の守り方を説明している。</p> <p>【学習カード・発言】</p> |
| | 5 | <p>○すかんくの身の守り方を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを確認し, 音読する。 ・すかんくの体の特徴を読み取る。 ・すかんくの身の守り方を読み取る。 ・2つの動物と比較し, 身の守り方の違うところに気付く。 ・すかんくの身の守り方を友達に伝える。 | | ○ | | <p>二枚の挿絵を叙述に即して示し, すかんくの身の守り方を説明している。</p> <p>【学習カード・発言】</p> |

| | | | | | |
|---|-----------|---|--|---|--|
| 三 | 6 (本時) | <p>○図書館資料から選んだえりまきとかげ身の守り方を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えりまきとかげの身の守り方を考え、文に表す。 ・えりまきとかげの挿絵を提示し、体の特徴を考える。 ・えりまきとかげの身の守り方を考える。 ・えりまきとかげの身の守り方を文に表す。 | | ○ | <p>図書館資料からえりまきとかげの身の守り方を表す言葉を選び出して書いている。</p> <p>【ノート・発言】</p> |
| | 7 | <p>○自分が選んだ動物の身の守り方の大体を捉え、カードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ動物の身の守り方を考える。 ・カードに書く。 | | ○ | <p>自分が選んだ動物の身の守り方を図鑑や資料を使って書いている。</p> <p>【学習カード】</p> |
| | 8 | <p>○自分が選んだ動物の身の守り方カードを友達と紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と紹介し合う。 ・単元を振り返る。 | | ○ | <p>動物の身の守り方について、わかったことや考えたことを伝え合おうとしている。</p> <p>【行動観察】</p> |

7 本時の指導（本時6／8）

(1) 本時の目標

- 主語と述語の関係に注意し、えりまきとかげの身の守り方を書くことができる。

(2) 本時の評価規準

- 読** 図書館資料からえりまきとかげの身の守り方を表す言葉を選び出して書いている。

(3) 達成基準（ルーブリック評価）

| A | B |
|---|---|
| <p>主語と述語の関係に注意して、えりまきとかげの身の守り方について、工夫して書いている。</p> <p>「これはえりまきとかげです。えりまきとかげは、えりをたてておどしてみをまもります。」</p> | <p>主語と述語の関係に注意して、えりまきとかげの身の守り方を書いている。</p> <p>「これはえりまきとかげです。えりまきとかげは、えりをたてておどします。」</p> |

(4) 準備物

- ・えりまきとかげの挿絵
- ・学習カード
- ・絵本から引用した文
- ・えりまきとかげの映像（出典：IPA「教育用画像素材集サイト」）

(5) 学習展開

| | 主な学習活動 [学習形態] ・予想される児童の反応 | ○指示・支援等 □評価規準 【評価方法】 ★支援を要する児童への手立て |
|------------|---|--|
| つかむ ⑩ | <p>1 挿絵を見ながら、前時までに学習した動物の身の守り方を確認する。</p> <p>2 えりまきとかげの挿絵①を見て、身の守り方を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">えりまきとかげは、どうやってみをまもるのかな？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・しっぽでてきをたたく ・はでかみつく ・はしってにげる | <p>○3匹の動物について、2枚ずつ挿絵を見せながら、身の守り方を口頭、動作化によって確認していく。</p> <p>○体の特徴に注目させながら、身の守り方を自由に想像させる。</p> |
| 考えを持つ ⑮ | <p>3 挿絵②を見て、身の守り方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くちをあけておどかす ・くびのまわりをひろげる <p>4 えりまきとかげの身の守り方を学習カードに書く。[個人]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えりをたてておどします ・えりをたてておどしてみをまもります ・えりをたててみをまもります ・おどしてみをまもります | <p>○児童の興味を引くように、挿絵をしっぽの方から順番に見せていく。</p> <p>★絵本から引用した文を提示し、身の守り方を全体で共有する。</p> <p>○動作化させ、身の守り方を確認する。</p> <p>○出てきた意見をもとに、「えりまきとかげは、～」に続けて文に表すようにさせる。</p> <p>★絵本から引用した文に注目させ、文に表すことができないか考えさせる。</p> <p>読 学校図書館資料からえりまきとかげの身の守り方を表す言葉を選び出して、書いている。 【学習カード】</p> |
| 学び合う ⑤ | <p>5 表した文をもとに友達と伝え合う。[ペア]</p> <p>A これはえりまきとかげです。</p> <p>B どうやってみをまもるのかな？</p> <p>A えりまきとかげは、えりをたてておどしてみをまもります。</p> | <p>○時間を取り、個人で練習した後に伝え合わせる。</p> <p>○ペアの相手が「どうやって身を守るのかな？」と問いかけるようにさせる。</p> <p>○学習カードの挿絵を指で差しながら、説明させる。</p> |
| まとめる ⑩ | <p>6 えりまきとかげの身の守り方の説明を全体で共有する。</p> | <p>○説明に合わせて挿絵を提示する。</p> <p>○友達が考えた説明との違いを考えさせる。</p> <p>○これまでの動物の説明の仕方と比較し、よりよい書き方について考えさせる。</p> <p>○最後に映像を見せて、動物の身の守り方に関心を持たせる。</p> |
| 振り返る ⑤ | <p>7 えりまきとかげの身の守り方について、わかったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えりをたててみをまもることがわかりました ・えりをひろげておどろかすことがわかりました ・さいごははしってにげることがわかりました ・まもりかたが2つあるのですかんとにしています | <p>○教科書教材で学習した動物と比較させ、動物によって身の守り方が違うことに気付かせ、次時の学習への意欲を持たせる。</p> |

(6) 板書計画

えりまきとかげ

えりまきとかげは、どうやってみをまもるのかな？

これはえりまきとかげです。

どうやってみをまもるのかな。

えりまきとかげは、
えりをたてておどします。
えりをひろげてみをまもります。

ふりかえり

えりをたててみをまもる。
さいごははしってにげる。

ほかのどうぶつも
知りたいな

みんなちがう

えりをたてておどします。

しっぽでたたかみつく
すぐにする

くちをあけておどかす。
くびのまわりをひろげる。
えりをたてておどします。

(7) 評価の視点（はりまや橋小学校授業づくりスタンダードより）

- ① 目標に対して問題や活動内容は適切だったか。
- ② 問題や活動のめあて、内容、見通しを明確につかませたか。
- ③ 求める力が身に付く言語活動内容だったか。
- ④ 目標と規準の達成に向かった指導と評価だったか。（本時重点目標）
- ⑤ めあてとつながる視点を持たせた振り返りだったか。